

## 5 本時の学習（第二次中3時）

### (1) ねらい

読み手に伝わりやすくするための文章構成や例、例外、説明の順序性などの筆者の説明の仕方を読み取ることができる。

### (2) 本時における学ぶ楽しさ

筆者が用いている文章構成や例、例外、説明の順序性によって筆者が読み手に伝わりやすい工夫をしていることに気づいていく楽しさ

### (3) 展開

時	学習活動と子どもの姿	学ぶ楽しさを味わうための手だて
5	1. 前時のふり返しをし、本時の学習課題をつかむ。 <説明の工夫を見つけ、その効果について考えよう>	(1)言葉との主体的な対話を促す
20	2. 説明の工夫とその効果について学び合う。 ・指・うで・あし・首・胴体というように人間の体を使って説明するからわかりやすいと思うよ。(人間の体の例) ・ミミズやヘビ、ウナギやネコなど身近にいる動物を例にしているからわかりやすい気がする。(身近な生き物の例) ・木の幹や草のくきの植物を動物の後に例に挙げていて伝わりやすいな。(植物の例) ・「○○を見てごらん」と書くとどンドン内容を読み進めたいよ。(読者に呼びかける言い方) ・絵があると形やイメージが付きやすいし、確かめられると思うよ。(さし絵) ・たくさん例を挙げてきてから例外を取り上げ、例外も当てはまるのか説明をしているんだと思う。(例外) ・「実験してみよう」で新聞紙を使って円柱形のよさを説明しているよ。(実験) ・「～なのだ」や「～なのである」から筆者の考えが述べられているよ。(文末表現) ・一文が短いのは筆者の伝えたいことがはっきりわかるようにしているんじゃないかな。(短文) ・人間→ミミズやヘビ→チョウと少しずつ読み手が理解できるように話を進めていると思うよ。(例の順序)	(2)他の考えとの協働的な対話を促す 子ども同士が考えをつなげられるように相互指名をし、考えの似ている子から順に考えを全体に広げていけるようにする
10	○先生の書いた文章の説明の工夫のアイテムを見つけよう。 ・初め・中・終わりの文章構成になっていて伝えたいことが初めと終わりに書いてあって読み手に伝わりやすいと思うよ。 ・ウニとハマグリの写真の絵がのっていて形や様子などの特徴がわかるよ。 ・「○○について考えてみよう」と読み手に呼びかけているので読み手が考えたいよ。	(1)言葉との主体的な対話を促す 単元のゴールでどんな考えを文章にするのかを例示し、既習で学んだことを再確認するようにする
10	3. 本時をまとめと今日の学習の振り返りをする。 ○自分の考えを書くときには、例を挙げて説明すると読み手が分かりやすくなることがわかった。○○さんの説明の順序には気がつかなかったので、説明を聞いて筆者の説明の工夫だと気づいたよ。自分の考えを伝えるときには説明の順序を意識して説明できるようにしたい。	(3)自分の学びと省察的対話を促す ①今日の課題に対する自分のふり返し②友だちとの交流から学んだこと③これから生かしていきたいことの視点を与えるようにする